

表 1 山形県のフル規格新幹線推進事業費の内容（当初予算ベース）

年 度	当初予算	主な事業内容
2013（平成25年）	202 万円	県民運動を開始。山形市で初のシンポジウムを開催（2014 年 3 月）
2014（平成26年）	484 万円	県民向けの啓発活動を拡充
2015（平成27年）	819 万円	専門家によるワーキングチームが発足。啓発用にパンフレットなど作成
2016（平成28年）	1596 万円	奥羽・羽越新幹線整備実現同盟を設立、関連業務の外部委託が増える
2017（平成29年）	3162 万円	需要予測調査を開始。シンポ開催に加え、ノベルティグッズを作成
2018（平成30年）	2935 万円	6 県合同のプロジェクトチーム発足
2019（令和1年）	2914 万円	6 県合同 PT の成果活用、板谷峠のフル規格トンネル化事業に本腰
総 額	1 億 2112 万円	

※ノベルティグッズとはフル規格新幹線の実現を呼びかけるポスターやノボリ、バッジ、手提げ袋、ポケットティッシュなど。

※プロジェクトチームを構成する 6 県は青森、秋田、山形、福島、新潟、富山。

